

議 長	副 議 長	事 務 局 長	事 務 局 次 長	主 幹	係 長	係 員

行 政 視 察 報 告 書

平成23年10月28日

笠岡市議会議長殿

(出張者) 議員 角田訓也 印

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告致します。

記

【1】 雁多尾畑最終処分場

住 所	大阪府柏原市雁多尾畑 1750 番地外
電 話	TEL:072-979-0336 FAX:072-979-0336
視 察 案 件	雁多尾畑最終処分場
期 日	平成23年10月25日(火)
応 対 者	雁多尾畑最終処分場職員4名
視 察 状 況	写真の通り
訪 問 施 設	雁多尾畑最終処分場 (かりんどおばた)
概 要	<p>名称／管雁多尾畑最終処分場管理型一般廃棄物最終処分場。</p> <p>埋め立て面積 22,200m² 埋立容量 265,000m³ 埋立年数 平成16年度～30年度 浸出水処理 180m³/日 埋め立て方式 準好気性方式 (セル&サンドイッチ工法) 着工 平成14年2月15日 竣工 平成16年3月10日 事業費 39億692.4万円</p> <p>焼却炉から出てきた灰や、公害を出さない為、排ガスから捕集されたダストは最終処分場で埋立。 ストーカで焼却された灰は、順次、灰押出装置で消火された後、灰ピットへ搬送され貯留。 ろ過式集じん器で集められたダストは、ダスト処理装置で重金属固定剤と水を加え、処理された後、灰ピットに貯留。 灰ピットに貯留された灰とダスト処理物は灰積出し車に積込まれ、雁多尾畑最終処分場に運ばれ埋立処分。</p>



事務所内・会議室で質疑



遮水機能診断・保護シート

国土が狭く、最終処分場用地の確保が困難な我が国においては、従来から、排出前にごみの資源化、減量化に努め、排出されたごみは、焼却等中間処理により、無害化、安定化、減量化を図ったのち、残渣を埋立処分する事をごみ処理の基本原則としてきた。

しかしながら、近年の大量生産・大量消費は、生活様式の多様化や利便性をもたらしましたが、同時に廃棄物の大量廃棄を生み出し、地球環境規模で自然への負荷を増大させる結果を生み出した。

さらに廃棄物の排出量の増加は、全国的に埋立処分場の残余容量が逼迫するという事態をも招いてきた。

このような状況のなか、柏羽藤環境事業組合では、持続可能な経済社会を目指し、循環型社会経済の構築に向けた取組の中、周辺環境への負荷を最小限にとどめる一般廃棄物最終処分場の整備を行った。

貯留構造は、造成によって作られた法面と埋立廃棄物の流出防止のための重力式コンクリート擁壁から構成されており、又、遮水構造は、埋立地周辺への水質保全に特に留意して二重遮水シート設備で施工している。

発生した汚水は、排出基準項目の全てをクリアできる施設として設置した浸出水処理施設にて適正に処理を行っている。

又、遮水設備の維持管理と安全性の向上に向け、漏水検知システム等のモニタリング装置等も整備しており、より完全な施設構造をもった施設になっている。

施設運営に際し、施設の運転管理に万全を期し、この新しい施設の機能を十分に活用して環境にやさしい、快適な生活環境の整備・充実に努めている。

地元の補償として基金3億円と、農道拡幅整備約3600万円×約10年。

漏水検知システム等のモニタリング装置等を整備した最新の施設であり、笠岡市の見崎山最終処分場とは比較にならない施設である。

西部衛生施設組合議会として新たに整備する新しい最終処分場は、こうした最新の安全性に優れた施設が望まれる。



処分場・全景



水処理施設

添付資料

視察資料

【2】 (株)クリーンステージ

住所	大阪府和泉市テクノステージ 2-3-30
電話	TEL : 0725-51-3933 FAX : 0725-51-3937
視察案件	次世代型廃棄物処理システム
期日	平成23年10月26日(水)
応対者	(株)クリーンステージ職員4名
視察状況	写真の通り 現場は写真撮影禁止
訪問施設	(株)クリーンステージ
概要	<p>(株)クリーンステージは、最先端の熱分解ガス化溶融を可能にした、焼却工程を持たない次世代型廃棄物処理システム「K・Kサーモセレクト方式ガス化改質施設」を導入している。</p> <p>廃棄物は、脱ガス・溶融・精製することで、100%再資源化できるほか、廃棄物を燃やさないため、ダイオキシンをはじめとする有害物質が、ほとんど発生しなすなど、資源循環、自然環境への配慮で、企業のゼロエミッション活動の推進にも大きく貢献している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>一般廃棄物 (6品目) 廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動物性残さ・植物性残さ</p> <p>産業廃棄物 (16品目) 燃えがら・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず 木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び 陶磁器くず・がれき類・ばいじん・令13号廃棄物</p> <p>特別管理産業廃棄物 (1品目) 廃石綿</p> <p>こうしたガス化溶融炉であればダイオキシン等の有害物質をほとんど発生することなく処理し、最終処分場への投入量の軽減と安全性の観点からも優れた施設であると感じた。</p> <p>現在検討されている最終処分場と並行して、こうした安全性に優れたガス化溶融炉について検討する必要性を改めて感じた。</p> <p>(民間の施設であり、施設内の写真撮影は一切禁止されている。)</p>
添付資料	視察資料

(個人行政視察用)